



わたしの夢

川俣高校2年

中島 蒼空^{そら}

お客様を大切にする

スーパーの店員になりたい

わたしの夢は、どんな時もお客様を大切に、最高の笑顔で接客するスーパーの店員になることです。私がこの夢を抱いたきっかけは、中学時代に行ったスーパーで困っているお客様に対して笑顔で対応している店員を見かけた時です。安心した顔をするお客様を見て、「スーパーの店員」という仕事の印象が大きく変化しました。高校に入学し、アルバイトができるようになったので、少しでも早く将来の夢に近付きたいと思い町内のスーパーでアルバイトを始めました。現在はレジを担当することが多いですが、機会があれば生鮮食品の加工や調理にも挑戦したいと考えています。また、アルバイトをしていると地元の方から「川俣高校の生徒さんかい?」「今日も頑張っ

てね」とお声がけいただくことがあります。顔を覚えてもらえることは嬉しく思いますし、声をかけてもらわなくても、お客様とコミュニケーションを取って、笑顔で接客を続けていきたいと思っています。

町長のひとこと vol.58



1月14日、飯坂下戸地区で小正月の伝統行事となっている「どんど焼き」が今年も開催されました。「どんど焼き」とは、しめ縄や年神様のお札といった正月飾りやお守りなどを集めてお焚き上げする日本の伝統行事で、年神様に感謝を込めて煙とともに見送り、家内安全と、新年の健康と幸福を祈願するものです。谷田部実行委員長によると、平成元年から始まり今年で37回目になるとのことです。焚き木集めから残り火の始末まで、実行委員会を中心に、消防団員や開催場所の地主、そして地域のみなさんの協力により開催しています。近年、各地で日本の伝統行事が消えていく中で、飯坂下戸地区の「どんど焼き」は、ぜひ今後

も継続していつてほしいと思いました。